

その他の製造業－その他における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	第3工場包装室で、包装機へ半製品を投入・選別する作業中、半製品投入口の位置が高く半製品の箱も重かった為、繰り返し箱を持ち上げた際に上半身に負担がかかり骨折した。	57	~99
2	17~18	工場の出荷場にて、フレコンバッグの紐掛け作業終了後、安全帯を外し、2段目から1段目へ移動して降りる時、フレコンバッグの側面にある紐に足が引っ掛かりバランスを崩してしまい、2段目から落ちてしまった。当日病院を受診したが異常は無く帰宅し、2ヵ月間通常通り勤務していたが、頭痛が気になり別の病院を受診したところ、入院が必要と診断された。	37	~49
3	8~9	事務所上（高さ2.4m）に保管してある棺布団のダンボールを床に下ろす作業中、バランスを崩し、飛び降りる形で落下し、右足踵を強打し受傷した。	67	1~9
3	13~14	倉庫で、荷物が雑然と置かれていたため荷物と荷物とのやっとなり足が入る10cm程のイ字型の隙間に片足ずつ入れ、無理な姿勢のまま約10kgの荷物を持ち上げた瞬間、バランスを失い転びそうになり、姿勢を立て直そうとした瞬間に腰に激しい痛みを覚え、そのまま動けなくなり、急性腰痛症と診断された。	59	30~49
3	7~8	工場2階の材料投入口で、1袋25kgの材料を投入しようとして腰を痛めた。	33	1~9
4	14~15	作業場においてユニットハウス組立中、幅90cmのカラー鋼板の壁パネルを入れようとして、パネルが約20cm下に滑り落ち、持っていた右手親指を切傷した。	36	10~29
	10~	工場部置場において部材パレット移動中に、台車通路がふさがれており、人力		50

5	11	(手)で無理やりに移動させようと力を入れた。	43	～ 99
6	16～ 17	化粧品が入っている箱(重さ25kg)を床に下ろす際、ゆっくりと床に置くために腰に力が入り、腰部を痛めた。数日間、痛みが引かなかった。	44	30 ～ 49
6	8～9	20フィートのコンテナ内で、輸入貨物の仕分け作業を行っていた時、一つの荷物を取り出した際に他の荷物が荷崩れを起こし、その荷物に体が後方にはじき飛ばされ、コンテナから落下し、地面に両足から着地して倒れ、左足を負傷した。	41	50 ～ 99
7	11～12	事務所内において、塗装部品検査の前の準備作業中、台車(高さ15cm)に7段積みで載っている自動車用プラスチック部品が入っている段ボール箱(45cm×30×25約5kg)を上から順番に一箱ずつ床に降ろしているとき、最後の7箱目を降ろすためしゃがみながら段ボール箱を持ったとき、腰に急に負担がかかりその際負傷した。	41	10 ～ 29
7	10～11	飼料製造工程中で、原料の入った2段積み重ねたメッシュコンテナをフォークリフトで運ぶときに、積み重ね状態が少しずれたので、手でずれを直そうとして、押したり引いたりして、誤って上下のメッシュコンテナの間に左手中指を挟んでしまった。タイ、永住者	45	10 ～ 29
7	8～9	会社内のコンテナ用プラットホームに載せてあったアップライトピアノが落ちてしまいプラットホーム下で作業していた被災者が落ちてきたピアノの下敷きになった。ピアノはプラットホーム上でフォークリフトの操作ミスにより、下に落下。	54	10 ～ 29
7	9～ 10	当社事業所において、被災者は、印刷作業中に印刷物の様子を見に行ったとき、コンテナ(縦53cm、横37cm、高さ20cm)が置いてあることに気づかず、躓いて転倒した。その際、左腕から地面についてしまい、左腕肘付近を骨折した。	62	50 ～ 99
7	8～9	畳の納品で、アパートのエレベーターで畳(2m×1.2m×5.5mm、重さ30kg)2枚を運び、2階に着き、エレベーターから畳2枚を同時に抱え持ち上げたとき、首の左側面から左肩にかけて激痛が起こり、作業を続けられなくなった。	32	10 ～ 29
	16～	工場内のウレタン加工作業場所にて、二人作業でウレタンを移動していた所、一人		100

9	17	が先に手を離し、腰に負担が掛かり腰痛症となった。当日、翌日は通常作業していたが、徐々に痛みが酷くなり休業する事となった。（全治3週間）	52	～ 299
9	6～7	リサイクル工場内において、攪拌機に小麦粉を入れる作業時、1台ずつに小麦粉を入れる時、背中を曲げると違和感を感じた。それから腰椎、左足が痛くて足を引きずるようになり、杖を使用しなければ、左足が思うように歩くことができなくなった。	64	10 ～ 29
9	0～1	当事業場内において、製品検品（1箱50個入りの通い箱より製品を5個ずつまとめて取り出し、検査する）を数カ月前から行っていたが、徐々に右手に違和感を覚え、今回は痛みと痺れが酷くなり製品を持つことが出来なくなった。被災後負荷の少ないラインへ移動し、定時まで就労後、自宅でシップをしていたが、痛みが取れない為、翌日接骨院を受診した。	22	50 ～ 99
9	16～ 17	工場内出荷置場で出荷材料準備中、パレット積材料タンクを専用の器具を使わずに手で積み替え作業を行った際、材料タンクが誤ってパレットより外れ、足先に接触して負傷したものである。	33	10 ～ 29
11	10～ 11	利用者への介助をしていたところ、おやつを食べ終え座っていたショートステイ利用者様が急に椅子から立ち上がったので危ないと思い、その方の所へ行き、椅子に座って頂くよう話をしたら、いきなり左首の辺りを3回殴られた。軽い痛みだったので、湿布を貼り、様子を見ていたが、翌日痛みが強くなったので、病院受診をした。	50	30 ～ 49
11	10～ 11	自社3Fの製作部前の作業通路にて、一人で宝石ディスプレイ用台座の再利用の仕分けを行っている際、その台座が入った重さ9～10kgのダンボールの中から台座を取り出そうとした時に、ダンボールとの距離感が狂いバランスを崩し、ゴムスリッパを履いていた足が前に滑って右足指をダンボールにぶつけ負傷し痛くなり、すぐに帰宅し、自宅近くの病院で手当てを受けた。	40	10 ～ 29
12	7 <sup>8</sup>	荷物（120cm×60cm×50cm、重さ約20kg）をワンボックス車で受け取りに行き、リアゲートから荷物を押し、被災者が荷台前方へ引き込む際、連携がうまくとれず手が荷物から抜けてしまい、その勢いで後部座席の鉄パイプ部分へ右手側面を強打し、負傷したものである。	33	50 ～ 99

---

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)